

反原発学習会「川内原発の再稼働を阻止するために」のご案内

日時:8月23日(土) 午後1時半～4時半

場所:市民交流センターひがしよどがわ

(JR新大阪駅:「東出口(西淡路方面)」から階段を下りる。

専門学校を右手にまっすぐ進み、公園を右に曲がった先)

【注意】東出口の階段は2ヶ所あり。真正面にある「東中島方面」ではなく、左側の「西淡路方面」の階段から。)

内容:

第1部:原子力規制委員会との7・29交渉でわかったこと＝「1340ガルの地震動は起こいうるが、まだ起きてないから基準地震動には取り入れない」



1340ガルの地震動を取り入れ、川内原発の審査のやり直しをすべきです。自分たちの出した1340ガルをどうして採用して評価をし直さないの ???

【7月29日の交渉 左2人は、規制庁

右2人は、若狭ネット】

原子力委員会は、川内原発1・2の審査書案を決定し、8月15日までに意見募集を行っています。7月29日の交渉で重大なことがわかりました。原子力安全基盤機構JNESが2009年までの報告書で「地表からは分からないM6.5の横ずれ断層により震源近傍で1340ガルの地震動が起こる」ことを断層モデルで算出していました。原子力規制委員会・規制庁は、「すでに起きた地震は基準地震動に取り入れるが、この地震はまだ起きていないので取り入れない」と主張したのです。15.7mの津波を算出しながら、対策を取らなかった東京電力幹部と全く同じです。原子力規制委員会は福島からの教訓から何を学んだのでしょうか。川内原発の審査のやり直しを求めて、この問題を掘り下げます。

第2部:関西電力の3年連続赤字と「原発再稼働か電気料金値上げか」の主張からわかること＝原発依存の経営失敗！脱原発で約2.2兆円の原発対策工事費と約1.9兆円の原発維持関連費が浮き、電気料金値下げも可能に！

関電は3年連続赤字などますます経営危機を深化させています。関電は日本原電に3年間で1千億円近く「受電なき電力購入費」を支払っていますが、敦賀原発が廃炉になればいらなくなります。同様に、関電の原発も止まったままで巨額の金食い虫です。電力9社+日本原電で、原発の安全対策費に2兆2千億円以上、停止原発の維持・管理費に年間約1兆5千億円、電源開発促進税に年間約3,500億円も投入し

続けています。「再稼働できなければ電気料金値上げ」などという主張のデタラメさを暴き、「全原発を廃炉にしろ！原発の維持・管理費を削減して、電気料金値下げをおこなえ！」と求めます。



「原発再稼働で儲けたいのですよ」(電力会社の経営人)

若狭連帯行動ネットワーク

●大阪:〒583-0007 藤井寺市林5-8-20-401 久保方 TEL072-939-5660 e-mail dpnmz005@kawachi.zaq.ne.jp ●若狭ネット資料室(長沢室長):〒591-8005 堺市北区新堀町2丁126-6-105 TEL 072-269-4561 e-mail ngsww@oboe.ocn.ne.jp ホームページ <http://wakasa-net.sakura.ne.jp/www/>